

XI 学校運営連絡協議会報告

令和4年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

(1) 都立多摩科学技術学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）

(2) 事務局の構成 主任教諭(総務主任兼務)=事務局長、総務部員7名 計8名

(3) 内部委員の構成

校長、副校長、経営企画室長、主幹教諭(教務主任)、主幹教諭(生活指導主任)、主任教諭(進路指導主任)、主幹教諭(総務部主任)、指導教諭(科学教育部主任)、主任教諭(科学技術科主任) 計8名

(4) 協議委員の構成

学識経験者(大学教授)2名、保護者の会会長、近隣中学校長、近隣小学校長、近隣商工会理事、市教育委員会指導主事、消防署長、警察署生活安全課少年係長、近隣NPO法人会長、計10名

2 令和4年度学校運営連絡協議会の概要

(1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他

第1回 令和4年6月24日（金）

本校の現状と課題等説明、意見交換

授業公開、これまでの教育活動に関する報告

協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価の内容検討、協議

1. 挨拶 校長 森田 常次

2. 協議委員の紹介

外部委員7名 校内委員9名 出席

外部委員3名 学年主任3名 欠席

3. 今年度の各分掌活動 中間報告

教務部 (矢島教諭より)

生活指導部 (朝岡教諭より)

進路指導部 (稲本教諭より)

総務部 (鈴木教諭より)

科学教育研究部 (田中教諭より)

科学技術科 (藤本教諭より)

1学年 書面報告

2学年 書面報告

3学年 書面報告

4. 学校評価アンケートについて

副校長より 「今年度の評価アンケートについては、前年度の評価アンケートの質問事項で実施する」

他 意見無し

5. 意見交換

6. おわりに 校長 森田 常次

7. 事務連絡 副校長 小杉 哲也

次回 第2回学校運営連絡協議会のお知らせについて

第2回 令和4年11月11日（金）

協議委員紹介、委員紹介、評価委員紹介

学校経営計画、昨年度の学校運営連絡協議会の課題

本校の現状と課題等説明、意見交換

授業公開、これまでの教育活動に関する報告

協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価の内容検討、協議

1. 挨拶 校長 森田 常次

コロナ禍により、各行事の保護者来校は現在中止としている。しかし、オンラインでの配信など行っている。また、子供の達成感が課題である。卒業研究に関しては、公開している。今年の修学旅行は広島、愛媛である。

2. 協議委員の紹介

外部委員6名 校内委員9名 出席

外部委員4名 学年主任3名 欠席

3. 今年度の各分掌活動 中間報告

教務部 (澤教諭より)

生活指導部（朝岡教諭より）
進路指導部（稲本教諭より）
総務部（鈴木教諭より）
科学教育研究部（工藤教諭より）
科学技術科（藤本教諭より）

1 学年 書面報告
2 学年 書面報告
3 学年 書面報告

4. 学校評価アンケートについて

副校長より「今年度の評価アンケートについては、前年度の評価アンケートの質問事項で実施する」

5. サポートチーム

各委員からの意見及び情報交換

渡邊委員(商工会)

鈴木委員(小金井消防署 警防課長)

6. 意見交換

小嶋委員(国立大学法人東京学芸大学 副学長)

藤井委員(東京農工大学 教授)

鈴木委員(小金井消防署 警防課長)

渡邊委員(商工会)

信山委員(ソロプチミスト 会長)

上地委員(T S会 会長)

7. おわりに 校長 森田 常次

8. 事務連絡 副校長 小杉 哲也

次回 第3回学校運営連絡協議会のお知らせについて

2月3日（金）に実施予定だが検討中

第3回 令和4年2月3日（金）

本校の現状と課題等説明、意見交換

学校評価について

協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価についての意見

1. 挨拶 校長 森田 常次

受験や研究発表などに向けて各学年、分掌で進めている。学力検査に基づく選抜がこのあとある。

最後にアンケート報告をするので評価をお願いします。

2. 協議委員の紹介

外部委員5名 校内委員9名 出席

外部委員5名 学年主任3名 欠席

3. 今年度の各分掌活動 最終報告

教務部（矢島教諭より）

生活指導部（朝岡教諭より）

進路指導部（稲本教諭より）

総務部（鈴木教諭より）

科学教育研究部（田中教諭より）

科学技術科（橋本教諭より）

1 学年 書面報告

2 学年 書面報告

3 学年 書面報告

4. 学校評価アンケートについて

校長より 集計結果（総務部作成）から別紙参照

5. サポートチーム

各委員からの意見及び情報交換

渡邊委員（商工会）

6. 意見交換

藤井委員(東京農工大学 教授)

川井委員（小金井第二中学校長）

鈴木委員(小金井消防署 警防課長)

渡邊委員（商工会）

小嶋委員（東京学芸大学副学長）

7. おわりに 校長 森田 常次

学校経営計画に経営報告を3月頃までに作成して発表する。

8. 事務連絡 副校長 小杉 哲也

今年度の学校運営連絡協議会はこれをもって終了とする。

来年度以降、案内を追って連絡する。

(2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他

第1回 令和4年6月24日(金)

今年度の学校評価の実施に向けた検討

第2回 令和4年11月11日(金)

学校評価の基本方針の確認、昨年度の学校評価結果の分析・考察

今年度の学校評価の観点・項目、内容の検討、実施時期の検討

第3回 令和4年2月3日(金)

アンケート集計結果の分析・考察、課題の整理

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

(1) 学校評価の観点

「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。

(2) アンケート調査の実施時期・対象・規模

・12月 全校生徒 対象：629人 回収：564人 回収率：89.7%（74.1%）

・12月 保護者全員 対象：629人 回収：206人 回収率：32.8%（31.2%）

・12月 教職員 対象：70人 回収：29人 回収率：41.4%（72.3%）

(3) 主な評価項目

「学校運営」「学習指導」「生活指導」「進路指導」「特別活動」「健康・安全」「施設・設備」

「SSH（スーパーサイエンスハイスクール）」「ライフ・ワーク・バランスの推進」

(4) 評価結果の概要（学校及び校長への意見・提言）

・本校に入学したことについて、ほとんどの生徒が前向きに肯定しているが、教育目標、特色を理解せずに入学者が来て、理系の学習と進学に特化した本校の生活を曖昧に捉えている生徒がいる。

・教育目標、学校経営計画、年間指導計画及びシラバスは、生徒・保護者ともに周知不十分である。

(5) 評価結果の分析・考察（学校及び校長への意見・提言）

・本校の活動に対して、全般的には多くの点で評価が徐々に改善してきていると思われるが、来年度で14年目となる本校の経営と運営は、さらに改善を要する。

・生活指導は、おおむね満足との回答ではあったが、昨年度実施できなかった、文化祭、体育祭を工夫して実施したことはよかった。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

・今年度、3回すべて対面開催となった。学校サポートチームも活用し、情報交換の点で、生徒への指導などに活かせる内容であった。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

・普通教科と科学技術科の融合を含めたクロスカリキュラムの実施が行われてきているが、さらに、実現に向けて努力を続ける必要がある。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

(1) 学校運営

・教育目標、学校経営計画、年間指導計画及びシラバスの、生徒、保護者への周知を徹底する。

(2) 学習指導

・「わかりやすい授業」を心がけている点は評価されているが教員と生徒との意識に隔りがある。

(3) 特別活動

・感染症対策により学校行事など中止していたため、実施方法の引き継ぎが途切れてしまった。新たに実施方法を工夫する必要がある。

(4) 生活指導

・服装などの指導が教員によって異なる。基準を定め、ぶれない指導が必要である。

(5) 進路指導

・科目選択において、文転した生徒の文化系科目の設置が厳しい。教務部と進路指導部が連携を強化しなければならない。

(6) 健康・安全

- ・教育相談、スクールカウンセラーへの相談者が増加している。組織的対応を検討する必要がある。

6 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 7人

(2) 学校が良くなったと答えた協議委員の人数

| そう思う | 多少そう思う | あまりそう思わない | そう思わない | 分からない | 無回答 |
|------|--------|-----------|--------|-------|-----|
| 3 | 3 | | | | 1 |

7 その他

- ・学校評価アンケートの回答数を改善するために、Microsoft Forms を活用したアンケートに改善した。
生徒・保護者は増加したが、教員の回答数が減ってしまった。教員の意識改革が必要である。
- ・今年度、地域の方のアンケートとして、近隣小学校の保護者に協力をいただき、実施できが、参加者数が少なかった。今後も様々な意見を反映させるためにも、アンケートの方法などの検討が必要である。